

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト「お花見」で銀メダル



銀メダルを獲得したチーム「スカイブルー」の皆さん

11月30日、東京で開催された第10回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会に出場し、銀メダルを獲得した五所川原市少年少女発明クラブ（チーム名：スカイブルー）の小山内雅人さん（五三中1年）、小山内愛梨さん（三輪小5年）、木村織音さん（いず

み小4年）が12月18日市長を訪問しました。

全国大会10回連続出場となる五所川原市少年少女発明クラブの今回のからくり山車は「お花見」で、弘前公園での花見風景を再現したもので制作期間は約4カ月。今回は、動力車1台と山車2台で構成され、弘前城の山車が真ん中から割れ、中から桜の木が飛び出す仕掛けのほか、弘前市のマスコットキャラクター「たか丸くん」と弘前さくらまつり公式応援キャラクター「桜ミク」がボートに乗って競争する仕掛けも売りとなっています。

雅人さんは「本番では、山車がスムーズに動いたのでもよかったです」、愛梨さんは「人形をスムーズに動かすことが難しかったけど、楽しかったです」、織音さんは「今年の大会では、悔しい思いをしたが、今年は練習どおり、しっかり動いたので良かったです」と大会を振り返りました。

社会福祉法人 あーんど 内閣総理大臣表彰を受賞



受賞を報告した大橋理事長(中央)と増田理事(右)

12月24日、令和元年度「子供と家族・若者応援団表彰」内閣総理大臣表彰を受賞した社会福祉法人あー

どの大橋一之理事長が、市長を訪問しました。

同表彰は、子供・若者を育成支援する活動や子育てと子育てを担う家族を支援する活動の取り組みに功績があった個人や団体を顕彰するものです。

同法人は、障がいや老若男女を問わず楽しく暮らせるまちづくりを目指して活動し、就労支援や余暇活動の支援のほか、障がい者の芸術文化活動やまちづくり事業、コミュニティカフェの運営、商品開発など、多岐にわたり活動しています。

大橋さんは「障がいのある人達が、社会の真ん中に入れるようなまちづくりに取り組み、また、まちに貢献できる事業に取り組んでいきたいです」と話しました。

藍綬褒章受章を報告



藍綬褒章を受章した村元さん(右)

12月24日、令和元年度の褒章で藍綬褒章を受章した村元範子さんが市長を訪問しました。

同褒章は、会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興、社会福祉の増進等に優れた業績を挙げた方または国や地方公共団体から依頼されて行われる公共の事務（保護司、民生・児童委員、調停委員等の事務）に尽力した方が対象となります。

村元さんは、平成10年の3月から法務大臣より委嘱を受け、保護司となり、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生を支援したほか、犯罪の予防を図るための啓発および宣伝の活動に従事しました。

また、五所川原更生保護女性会の会長としても更生保護活動に尽力されました。

村元さんは「大変、光栄です。今後も人の役に立っていききたいと思います」と受章の喜びを語りました。